

● **京都府の交響プロジェクト事業に申請している 6 事業計画のうちの最後に実施する里山の会の年間活動の結果をお知らせする地域説明会が7日から開始されました。**今年の中聖牛の活動に加えてイタセンパラの復活を木津川で始めることになったところを強調しています。また竹蛇籠の製作講習会での竹蛇籠の編み方についてビデオを制作したので、その発表公開も兼ねて行っています。特に今回はプロジェクターを使ってこれまでの映像での記録もリクエストをいただくと上映させていただいております。

● **7日(金)は城陽市文化パークで開催し、38人の参加がありました、**直前に案内ハガキを送りましたので、お越しいただいた方や当日の京都新聞で案内記事を見て来たという方がおいでになりました。また木津川の植物等の発刊物を求めて、一度来られた方が再度お越しいただくなどこれ迄とは違った出会いであいました。

● **8日(土)は炭焼体験の最終回としての炭の窯出し作業を行って 34箱が生産できました。**総量は144kgが出来ました。これまでだと一釜で平均260kg程度が生産出来ていました。しかし今回は足掛け3年の中止空白があったの初窯でした。また窯の特徴を飲み込んでいた経験者の現地指導も全く無い最悪の条件のもとでの試行でした。太田さんがインターネットで学習した資料を基にデジタル温度計の測定値をもとにした素人集団による手探り状況での窯の運転でした。空気遮断の難しい判断を行う大苦労の上での成果品が出来上がったことは大成功なのです。窯出し前日(7日)に窯を開けて温度を下げおこうと焚口から中を覗くと白い灰が一面に見られました。大いに期待をしていたのに完全燃焼してしまって、生產品皆無の見通しとの連絡がありました。大きく期待をする一方、最悪の結果になるのではないかと嫌な予感がありました。点検をした太田さんも大村さんも覚悟はしていたけれど、あれだけ苦労を重ねたのだから随分と落胆することになってしまいました。翌日8日の朝9時に集合となっていましたので覚悟を決めて集合してみると、気になるのか、期待して頑張り続けていただいた太田さんなどは焚口を開けて窯の中に入って入り口の灰を掻き出していました。顔を合わすなり、「炭が焼けています」と弾んだ声が響いてきました。太田さんや森島さんが黒い灰を掻き出しました。続いて出てくる灰の色は白色して高温で燃焼したものです。4杯も白色の灰が続いて掻き出されて、やっと待望の炭の運び出しに移りました。みんなの目が輝きました。どの顔をもヤッター、デキターという喜びがほとぼりした瞬間でした。我々里山の会のメンバーが力を合わせてやり遂げた偉大な瞬間でした。段ボールを組み上げる人、出来上がった未だ温かい温度の残るホカホカの炭を広げるゴザを広げる人、みんな思い思いにそれぞれ準備に自分から進んでとりかかっていました。みんなうれしさがこみあげていたのです。売れ口のない炭ですが、久しぶりにかなりの量の炭が出来上がったのです。みんなで力を合わせて生産したもので、やり遂げた、成し遂げたという満足度をお互いにかみしめあいました。退職してこの方10数年間味わうことがなかった達成感があふれ出ていました。窯出しを始めてから30分ほどの立った10時半ごろには34箱が積みあがりました。これで作業は片付いてホッとしました。森島君と太田さんは窯の中の炭をほとんど二人で出してくれて、顔がまっくろでした。休憩して解散という雰囲気は漂いました。ことはここで終わるわけにはいきません8人もの仲間が集結しているのです。もうひと頑張りと言をかけて、もう一釜分の原木が残っているので原木の窯詰をしておこうと呼びかけました。時間もそこそこ残っていたので、頑張ってくださいました。再び森島さんが窯に入り、バケツリレー式で原木を手渡ししました。約20分で窯詰が終わり、周囲の整頓と原木の詰め込み口の締め切りを行い整理整頓ができました。次回の着火日は20日過ぎということにして解散し家路につきました。帰り道に里山農園の野小屋に生產品を運び込みました。当分の間の炭利用分がかなり確保できました。1月25日に原木の詰め替えをして始めた取組みに本当によく頑張って素晴らしい成果が実りました。ご苦労様でした。皆さんのお知り合いや仲間でも木炭のご利用先があればお知らせください。力を合わせた作品のご利用をお願いします。4kg箱で1200円での販売を予定しています。輸入品より割高ですが、里山の手入れに役立てられるぎりぎりの値段になります。御理解いただきご協力をお願いします。

● **9日は宇治市の生涯学習センターで地域説明会の開催となりました。**この日は日曜日で朝から雪が舞い散る

大変厳しい天気でした。このあたりは官庁街だったので、この日の寒さも影響したのか、人影が大変少なく寂しい通りでした。自動車が激しく通行しているようでした。一般の皆さんは会館や施設をご利用になる予定は私たち以外におられませんでした。それでも朝から北野大輔さんのご両親や蛇籠に興味のある人など、木津川の植物に関心のある方が訪ねてくださいました。京田辺からはかなり遠い場所に当たりますが、会場を飾り付けるスタッフの皆さんは定刻の9時には全員が集合して、会場作りに頑張りました。約1時間の作業で、きれいに展示が出来上がり、開場の10時にはスライドの上映が始められました。本日で二日目、二回目の飾りつけになり、手際の良さも身に付いて、スピーディに事が運ぶようになり、全てに要領が発揮されました。一言にいえば手際よく事が運びました。腕が上達したのです。

● おなじく9日の第2日曜日は午前8時前からの府営団地での野菜販売を行う朝市の開催です。この日はこの冬一番の冷え込んだ大変寒い朝でした。雪が舞う中、大村さんと吉村さんが大根やヒノナの販売に出かけてくださいました。いつもだとかかなりの人が集まってくれていますが、少し出足が弱いようでした。始まって間もなくスピーカで朝市の案内放送がされ、皆さん40人程がお越しになりました。寒い朝のご奮闘ご苦労様でした。

● **11日の地域説明会は八幡市のさくらであい館が会場になりました。**八幡市では男山団地の集会所又は松花堂等随分と会場探しに奔走していただきました。今回は八幡文化センターの展示室を使用しましたが、来場者が予想以上に少なかったため、何とかギリギリまでよい会場をと検討しました。しかしいずれも1ヶ月前でないと借用申し込みが確認できないとか抽選があつてという難しい条件があつて都合がつかなくなり、少し交通には不便でしたが御幸橋のさくらであい館を予約しました。さくらであい館は使用手続きや使用基準が特に厳しく用具・器具の使用やその他たいしたことでもないのに注意が徹底されるので非常に使いにくく、評判が悪く敬遠される施設です。この日も机の移動などポスターの張り出しの方法について厳しい指導があつて困惑し、常識では考えられないことがありました。それでも連続3回目となるので、スタッフの腕は上達したため、無事に乗り越えて短時間で飾りつけがスムーズにできました。初回だったらトラブルの続出だったように思います。

11日は祝日で寒さ厳しい所だったので、一般客の来訪は少ないだろうと予想していました。ところが11時ごろからはかなりの皆さんがおいでになりました。お話をすると半分近くが奈良県の方で奈良市や学園前や生駒から天理から来たという皆さんが数多くお越しになりました。また京都市から来た西京区、左京、宇治伏見といった方々がおいででした。この自転車道は狭く段差が在りすぎるといった苦情も聞かされました。それでも建物では木津川はどんな川という展示を行っています、と呼びかけると興味を示してご覧になっていただきました。なかには竹蛇籠の説明があると新聞であったので楽しみに来たという人も数人おられました。入れ替わりが続き多くの皆さんに展示説明をさせていただきました。また室内に張り出されていた大型のポスターの内容は、里山の会が行っているものと合致する内容で、まるで里山の会の展示物であると錯覚するほどぴったりでした。大いに活用させていただきました。この日の天気は大変暖かく絶好の天気で賑やかな一日となり、来訪者見学者は110人を超える人が来られました。

● **14日の午後から開催されるささやまミーティングに金田さんと有田さんが参加いただく予定をしています。**応援に連日活動が続く太田さんも支援に参加いただくことになって、3人が出席することになりました。昨年に続く出席なので要領は把握されていて良い発表になるのではないかと期待しています。この集会は、近畿地方で活躍する環境団体が日頃の活動紹介の発表を通じて学びあう情報交流の場として第15回エコネット近畿情報交流会です。会場予定地はパナソニックの労働組合が持っている福祉施設を借用して開催されます。里山の会の中聖牛の取り組みとイタセンパラの復活を目指す取り組みを発表する予定です、またヤマトサンショウウオの取組も併せて発表します。時間が少し足りないかもと心配する内容の発表になりそうです。少し心配なのですが、頑張ってきてほしいと思っています。

● 2月22日23日には木津川の生き物調査研究を摂南大学生が終日行われます。邪魔にならないように見学させていただきますようお願いしています。ご関心のある方がおられましたら、9時過ぎに玉水橋東詰にご参集ください。場所を移動しますので、時間厳守をお願いします。最低長靴はご準備ください。なお洞長靴があれば最適だと思います。